

歴史

世界地図を活用し、大航海時代と日本のつながりを認識する —ヨーロッパ人は近世の日本にどのような影響を与えたのか—

新潟県 上越教育大学附属中学校 教諭 仙田 健一

1 はじめに

グローバル化が進展する社会の中で、歴史的分野の学習でもわが国の歴史の背景となる世界の歴史の扱いの充実が求められている。特に戦国時代から江戸時代の始まりにかけて、日本を巡る世界の状況は大きな転換点にあった。それはヨーロッパ諸国のアジア進出の始まりだからである。この内容に関して、『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編』では、以下のように示されている（波線部著者注）。

（ア）世界の動きと統一事業

ヨーロッパ人の来航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎がつけられたことを理解すること。

「ヨーロッパ人の来航の背景」とは、宗教改革が起こり、イエズス会が布教を海外に求めたことやイスラム商人の活動が新航路の開拓につながっていることである。また、「その影響」とは、鉄砲やキリスト教などが伝来し、南蛮貿易が盛んになり、日本の近世の社会に大きな影響を与えたことである。このようにわが国の歴史の背景にある世界の歴史を理解することが近世の日本の歴史の大きな流れを追究するために必要であることが分かる。一方、これまでの学習では、世界と日本の歴史のつながりが認識しづらいという課題が実践の多くで見られる。

そこで、以下のような手だてを講ずることで、上記の課題に迫ることとした。

2 課題に迫るための手だて

（1）世界地図の活用

歴史の授業であっても、特に世界の歴史に関わる単元では、地図の活用を促したい。それは、世界と日本のつながりを地図上で認識することができるからである。

（2）指導と評価の一体化

学習前に以下のような単元のまとめの評価基準を生徒と共有することで、歴史的な見方・考え方（時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながり）を働かせながら学びを深めることができると考えられる。C評価の生徒については、ほかの生徒のまとめを共有し、B評価以上になるように促したい。

評価	評価基準（思考・判断・表現）
A	ヨーロッパ人の来航の背景について、 <u>図版（地図や図）を活用して説明でき、その影響を日本と世界の関係に着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。</u>
B	ヨーロッパ人の来航の背景とその影響を多面的・多角的に考察し、表現している。
C	ヨーロッパ人の来航の背景とその影響を多面的もしくは多角的に考察し、表現している。 <u>※一面的なとらえとなっている。</u>

3 単元目標と学習計画について

本稿は、令和3年度版『社会科 中学生の歴史』（以下、教科書）p.94～101の学習内容と令和3年度版『中学校社会科地図』（以下、地図帳）を基に学習と評価の計画を作成したものである。

(1) 単元名

歴史的分野 大航海によって結び付く世界
～ヨーロッパ人は近世の日本にどのような影響を与えたのか～

(2) 単元目標

- ・ヨーロッパ人の来航の背景とその影響を基に、近世の日本の社会の基礎がつけられたことを理解する（知識・技能）。
- ・ヨーロッパ人の来航の背景とその影響を世界の結び付きに関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現する（思考・判断・表現）。
- ・ヨーロッパ人の来航の背景とその影響に関する課題をよりよい社会の実現を視野に主体的に追究しようとする態度を養う（主体的に学習に取り組む態度）。

(3) 学習計画（5時間）

時	主な学習活動
1	室町・戦国時代のヨーロッパは？ ・ヨーロッパの絵画を時代が古い順に並び替える。 ・なぜ、ルネサンスが起こったのかをヨーロッパの地図を活用し、説明する。
2	ルターはなぜ、宗教改革を行ったのか？ ・免罪符販売の画像を見て、免罪符を買うか、買わないかを考える。 ・宗教改革が日本にどのような影響を与えたかを考える。
3	ヨーロッパ人は何を指したのか？ ・西インド諸島を地図帳の索引を活用して探す。 ・15世紀のヨーロッパにおいてこしょう、ハチミツ、チーズのどれが金と同じように高価なものであるといわれてきたのかを答える。 ・ヨーロッパ人たちがどのような航路でインドを目指したのかを白地図に記入する。
4	コロンブスは英雄か、侵略者か？ ・コロンブスが航海に出かけるために必要だったものを考える。 ・コロンブスは英雄か、侵略者かを考える。 ・スペイン人と先住民の立場で考える。
5	なぜ、ザビエルは日本にやってきたのか？ ・鉄砲は戦い方や城をどのように変えたのかを考える。 ・『南蛮屏風』を読み取り、もたらされたものを考える。 ・ヨーロッパ人は近世の日本にどのような影響を与えたのかを考える。

4 学習のポイント

学習がどのように展開されるかについて、生徒主語での実際の活動を以下で説明する。

(1) 1時間目

導入では、教科書p.95の古代ローマの三美神、中世の三美神、ルネサンスのころの三美神の画像を提示し、古い順にグループで並び替える。古代ローマとルネサンスのころの三美神が似ていることをとらえる。

次に、ルネサンスの説明がされている教科書p.94～95の「人間の個性や自由を表現しようとした古代ギリシャ・ローマの文化を理想とするルネサンス（文芸復興）とよばれる新しい風潮が生まれました」を読む。ワークシートを活用し、ミケランジェロやレオナルド＝ダ＝ビンチ、科学技術、天文学、地理学の発達を確認する。また、ガリレオ＝ガリレイがカトリック教会から異端とされ、自説を放棄させられたことを確認する。

展開では、教員からの問い「ルネサンスはどこで盛んになったのか」に答えられる記述を教科書から探す。さらに「なぜ、イタリアなのか」を教科書p.98～99の「8 16世紀初めごろの世界」の地図を参考に考える。十字軍の遠征によるイスラム文化およびイスラム商人との交流をとらえる。

まとめでは、「なぜ、イタリアでルネサンスは起こったのか」について、地図を活用して振り返る。

(2) 2時間目

導入では、教科書p.95の「8 免罪符を販売する様子」を見せ、何をしているところかを考える。罪の償い（罰）が軽くなる札を買うか買わないかを生徒自身に選択させる。その際に現代社会でもお守りを購入したり、占いを信じたりすることがあることと比較しながら考える。

次に「なぜ、カトリック教会は免罪符を販売したのか」を考える。教科書p.95から「十字軍の失敗」や「ローマの大聖堂修築の資金」と

いったことを読み取る。

展開では、ドイツのルターやスイスのカルバンといった人物がカトリック教会に抗議し、宗教改革を始めたことを確認する。「なぜ、ルターやカルバンは権威を持つカトリック教会に抵抗することができたのか」をグループで考える。その際に、地図帳p.50のヨーロッパの宗教分布図やグーテンベルクの活版印刷の画像を参考にし、これまでは権威のある人に聞かなければ分からなかった聖書を市民が読むことができるようになったこと、ルターやカルバンを支援する諸侯や知識人などがいたことをとらえる。

次に宗教改革はどのような影響を日本に与えたのかを考える。その際に教科書p.95を参考にフランシスコ=ザビエルの布教活動との関連をとらえる。

まとめでは、「なぜ、ルターは宗教改革を行なったのか、その影響は何か」を振り返る。

(3) 3時間目

導入では、西インド諸島を地図帳の索引を活用して探す。「なぜ、西インド諸島と呼ばれているのか」を考える。

次に15世紀のヨーロッパにおいて、こしょう、ハチミツ、チーズの中で金と同じように高価であったといわれていたものは何かを考える。教科書p.96から肉の保存などのために香辛料(こしょう)が必要だったことを確認する。

展開では、ロイロノートで配信された白地図に着色する以下のような活動に取り組む(図1)。作成した白地図を基に「なぜ、新航路を発見しようと思ったのか」をグループで考える。

- ①白地図の地中海に青色を塗る。
※イスラム勢力やイタリア商人が支配する地中海。
- ②イスラム教の国(オスマン帝国)に赤色を塗る。

この時代、ヨーロッパの商人たちは、地中海とオスマン帝国の支配地を通過することができないことを確認する。次に、新航路の開拓を目指したコロンブス、バスコ=ダ=ガマ、マゼランのルートを教科書p.98~99の「8 16世紀初めごろの世界」の図を参考にして白地図に記入する(図2)。教科書のこの地図中の日本にも注



図1 生徒が作成した16世紀初めごろのヨーロッパとアジアの交易を示した地図の例

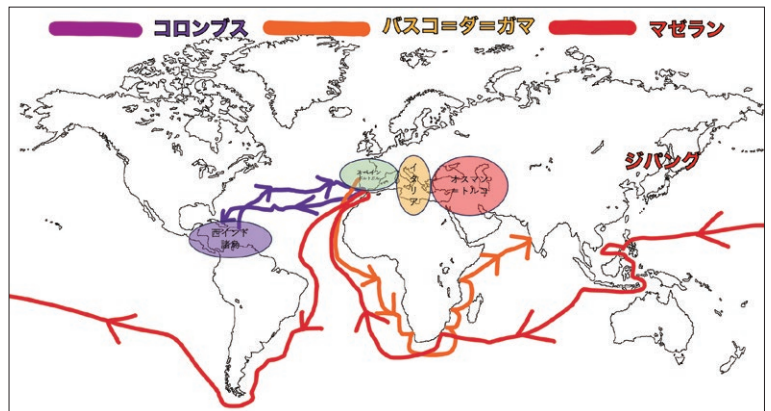


図2 大航海時代の航海者のルートを記入した地図の例

表 大航海時代の出発時と帰国時の様子

航海者	出発時	帰国時
コロンブス (1492年)	3隻 約90名 (1492年8月)	1隻 約40名 (1493年3月)
バスコ=ダ=ガマ (1497~98年)	4隻 170名 (1497年7月)	2隻 44名 (1499年7月)
マゼラン	5隻 265名*1 (1519年9月)	1隻 18名*2 (1522年9月)

※1 諸説あり。
※2 後に別の船で帰国した者を含めると35名ともいわれる。
出典：大江一道・山崎利男『物語 世界史への旅』山川出版社 2020年、大野拓司『マゼラン船団 世界一周500年目の真実 大航海時代とアジア』作品社 2023年 ほか

目させ、イラストや琉球王国、アイヌ文化圏についても触れておくこと時以降の助けになるだろう。

どのくらいの人数が航海に出発し、帰国したのかを考える。そして、表を確認する。

まとめでは、大航海時代に関してどのような

問いをもったのかを記述する。

(4) 4時間目

導入では、3時間目の振り返りで記述した問いを共有する。例として、以下のような内容である。

- ①航海のために必要な道具は何か。
- ②なぜ、危険を侵して航海に出かけたのか。
- ③コロンブスは香辛料を手に入れたのか。

例えば、①の問いについて生徒全体で共有し、意見を出し合う。「羅針盤、武器、航海術や戦術、大きな船」といった意見が出るだろう。次に教科書p.97の「7 大航海時代に広まったもの」を見て、それらがヨーロッパに利益をもたらしたことをとらえる。

展開では、ヨーロッパにばく大な利益をもたらしたコロンブスは英雄か、侵略者かを考える。「危険を侵して、新航路を発見したので勇気があったから英雄だ」、「コロンブスがいなかったらトマトを使ったヨーロッパ料理やチョコレートなどが無いので英雄だ」といった意見が出るのが想定される。

次に、コロンブスが以下のような影響を与えたことを確認する（教科書を参考に作成）。

- ・アメリカ大陸を発見した（コロンブスは死ぬまで「インド」だと思っていた）。
- ・アメリカ大陸とアジアやヨーロッパ、アフリカの間で各地の動植物や産物、病気などが互いに急速に広がった。
- ・先住民を強制的に鉱山や農園での労働に従事させた。
- ・スペインは、アステカ王国やインカ帝国を征服して広大な植民地を築いた。

コロンブスは、英雄か、侵略者かをスペイン人と先住民の立場で考える。その内容をロイロノートで共有する（図3）。スペイン人の立場では、「コロンブスの到達によって、ヨーロッパに有利な世界の一体化が生まれたのでスペインにとっては英雄だ」という考えや、先住民の立場では、「先住民はコロンブスに食べ物や水を与えて歓迎したのに、厳しい労働に従事させたから侵略者だ」といった意見交換をする。

無記名	回答を隠す	回答共有中	一括返却	🔍 検索	🔄 切り	👤 比較	📄 画面記憶
7月22日(月) 12:08	先住民からするとコロンブスは侵略者だと思います。コロンブスが先住民のことを悪い扱いをするためにインディアが危険な国です。彼らが欲しかったスペイン本國に運り込んだり、インディアの多くは病気で死んでしまったり、悪用されたりしたりなど悪い扱いを受けていたからコロンブスは侵略者だと思いました。	7月22日(月) 12:08	先住民にとってははたしたの英雄、大発見したのはすごいけど、彼らに手に入れた香辛料は「食料品として使われる」って使ったことか。	7月22日(月) 12:08	先住民に対する一方的な略奪、奴隷化、虐殺などの行為は当時のヨーロッパではそうでなかったとしてもどう考えても帝国主義的な侵略ではないと思う。また、これによって一方にしか利益がなく、先住民側からしてみれば暮らしてたらいきなり襲われて迷惑というレベルじゃない。	7月22日(月) 12:08	先住民は、先住民の人の立場から見てコロンブスは侵略者だと思いました。目的の一つ、金銭的というだけインディアを奴隷にする許可を求めたり、大船乗組員など行動を仕立てていたので、何の思いもなしに殺されてしまったらどうなるか。奴隷にした人達をスペイン本國へ送り込んだりしたので、侵略者だと思いました。
7月22日(月) 12:09	先住民からすると侵略者だと思う。コロンブスはいさな家で自分たちの土地を略奪したり、奴隷貿易や略奪を行っていたから。	7月22日(月) 12:11	ヨーロッパの立場から考える 英雄だと思います。食べ物や香料を入れることができるようになったのもそのおかげだし、植民地とすることで自分の国を発展させることができるからヨーロッパの人々に取った英雄です。でもこの時と現在では人々の考えも変わってくると思います。	7月22日(月) 12:11	ヨーロッパ 英雄だと思いました。ヨーロッパ人から見れば航海は生存率が低いのに新大陸を発見してくれたし、キリスト教とかを広めてくれたのはとてもいいことだからです。他にもいろんな野菜や当時は値段がとて高い香辛料を持ってきてくれたからです。	7月22日(月) 12:12	先住民 こっち側にとっては侵略者だと思いました。インディア「侵略者」の多くは病気で死んでしまったり、奴隷貿易したり、聖地巡礼客を襲う目的で襲われたりなど悪いことばかりだったので悪いと思っています。
7月22日(月) 12:12	先住民からすると侵略者だと思う。コロンブスはいさな家で自分たちの土地を略奪したり、奴隷貿易や略奪を行っていたから。	7月22日(月) 12:14	ヨーロッパ 英雄だと思いました。ヨーロッパ人から見れば航海は生存率が低いのに新大陸を発見してくれたし、キリスト教とかを広めてくれたのはとてもいいことだからです。他にもいろんな野菜や当時は値段がとて高い香辛料を持ってきてくれたからです。	7月22日(月) 12:14	先住民 こっち側にとっては侵略者だと思いました。インディア「侵略者」の多くは病気で死んでしまったり、奴隷貿易したり、聖地巡礼客を襲う目的で襲われたりなど悪いことばかりだったので悪いと思っています。		

図3 共有したコロンブスに関する評価の例

まとめでは、自分自身のコロンブスのイメージを考察し、振り返る。

(5) 5時間目

導入では、教科書p.101のザビエルの画像を見て、キリスト教とともにヨーロッパから伝わったものは何かを答える。地図帳から種子島を探す。次に鉄砲は戦いをどのように変えたのかをグループで考える。

展開では、教科書p.100~101の「1 日本にやってきた南蛮人」の図版をグループで読み取る。南蛮貿易が布教と一体であることを確認する。

- ①南蛮人に連れられている動物は何か（虎）。
- ②寺の屋根には何があるか（十字架、南蛮寺）。
- ③貿易品にはどのようなものが見られるか（絹織物など）。
- ④黒い服を着ている南蛮人はどのような仕事の人か（宣教師や修道士）。

まとめでは、単元全体を通して、ヨーロッパ人は近世の日本にどのような影響を与えたのかを考え、まとめる。

4 おわりに

教科書p.99では、「世界の一体化の始まり」と記述されている。本単元の内容は、今日まで続くグローバル化の背景である。世界と日本の歴史を考えるために地図を活用し、人とモノ、文化などの動きをとらえ、広く国、地域のつながりを認識することが重要なのではないだろうか。

帝国書院のWebサイトに、ワークシートを掲載いたします。

